



▲親子イルカの飛行機



▶記念撮影をする乗客たち

親子イルカの飛行機が ついに登場！

天草エアラインの新デザイン機体がお目見え
2月12日から機体の塗装などのために運休していた天草エアライン(株)の飛行機が同25日、親子イルカの飛行機に生まれ変わって天草空港にお目見えしました。

この日は、始発便にあわせて同社の奥島透・代表取締役社長や安田市長など関係者が出席して、出発セレモニーを実施。奥島社長は、「親子イルカ号にぜひ乗っていただきたい」と話していました。その後、搭乗手続きを済ませた乗客たちは、新しいデザインになった機体を眺めたり、記念撮影をしたりしていました。

正しい歩き方を学ぶ

歩き方講座(歩講)

1月27日、小宮地地区振興会による「歩き方講座(歩講)」が新和町の小宮地公民館で開かれ、地区住民10人が参加しました。これは同地区振興会が、定めている2月の“健康ライフ推進月間”を前に、体に負担をかけない歩き方を学んでもらうことなどを目的に開催したもの。市健康運動指導士が、ひざや腰の痛みを予防するウォーキングフォームを指導。参加者は、「習ったことを実践しながら、今後楽しく歩いていきたい」と話していました。



▲地区内をウォーキングする住民たち

オーケストラの演奏を堪能

河浦小学校「文化芸術体験事業」

2月20日、河浦小学校でザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団(大阪府)による公演が行われました。文化庁主催の「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」として、同校の児童126人を対象に実施されたもの。児童たちは、各楽器の名前や特徴の説明を受けた後、同楽団員65人が演奏する“ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」第1楽章”などに聞き入っていました。また、オーケストラの演奏での同校校歌の合唱や指揮者体験などを実施。児童たちは「初めてだったけど、楽しかった」と話していました。



▲指揮者に挑戦する児童

長年の景観づくり活動を高く評価！

2012くまもと景観賞

「2012くまもと景観賞」の緑と水の景観賞に“ツツジ咲く広瀬川河岸”が選ばれ2月13日、本渡北地区の今釜区と広瀬区が表彰を受けました。この賞は、良好な景観形成に大きく貢献している人々の功績を広く顕彰することを目的に、県が設けているもの。両区などでは、美しいふるさとづくりのひとつとして、昭和50年に広瀬川下流の両岸にツツジを植栽。以来、両区民がツツジのせん定や除草などの維持管理を行っており、地域住民の長年にわたる景観づくりの取り組みが高く評価されました。広瀬川のツツジは、毎年5月上旬に一斉に咲き誇ります。ぜひ、ご覧ください。



▲表彰状を手にする今釜区・吉岡輝治区長(左)と広瀬区・森暉夫区長(右)



▲ツツジが咲き誇る景観



▶浦城跡を散策する参加者

緊張のお点前披露！

ひな祭り作法茶会

3月2日、栖本町の和貴保育園で恒例の「ひな祭り作法茶会」が行われました。約2カ月をかけて茶道の作法を練習した年長児10人が、和服に身を包み、緊張しながらも真剣な表情でお点前を披露。園児から招待を受けた保護者などは、慣れない作法にとまどいながらも、園児たちがたてたお茶を飲んで「とてもおいしいです」とにっこり。お点前を終えた園児たちも、「緊張したけど楽しかった」と笑顔で話していました。



▲緊張しながらお茶をたてる園児

健康づくりをしながら地域の歴史を知る

浦の史跡ウォーク

2月24日、「第5回浦の史跡ウォーク」が倉岳町の浦公民館を発着とする4kmのコースで行われ、65人が参加しました。浦地区振興会が、地域の財産を子どもたちへ伝えることと、地区住民の健康づくりなどを目的に実施したもの。参加者は、地元の歴史に詳しい歳川喜三生・倉岳支所長の説明を聞きながら、浦城跡や龍宮神社を散策。また、散策後はイノシシ肉を使ったシシ鍋や棚田米のおにぎりがふるまわれたほか、お楽しみ抽選会も行われ、会場は大いににぎわっていました。